**Videobar VB1** オールインワンUSB会議デバイス

設計者とエンジニアのための仕様概要

2023年11月

このUSB会議デバイスは、ハドルルームや会議室など、小規模（最大3 x 3 m）から中規模（最大6 x 6m）の「Bring Your Own Meeting」（BYOM）スペース向けに設計されており、4K対応ウルトラHDカメラ、ビームステアリングマイク、スピーカー、プラグ＆プレイUSB接続機能、Ethernet接続機能、Wi-Fi接続機能を備えています。増設マイクを使わずに、奥行き6 mまでの部屋で使用できます。BYOMデバイス、ホストコンピューター、統合型会議室で、Microsoft Teams、Zoom、Google Meetなどのユニファイドコミュニケーション（UC）クライアントサービスを使用する際に、マイク、スピーカーフォン、カメラ機能を提供するUSB機器です。

ウルトラHDカメラの視野角は、123°（対角）×115°（水平）×81°（垂直）で、5xデジタルズームに対応し。デジタルパンチルトズーム（DPTZ）では、3つのプリセットを任意で設定可能です。グループオートフレーミング機能では、上部のスペース、ズームの速度、パンやチルトの速度、境界のサイズを設定できます。オートフレーミング機能の有効化と無効化はユーザーが選択できます。この機能は、IRリモコンからカメラの操作が開始されると自動的に無効になります。カメラ画像の処理は、自動ホワイトバランス、自動輝度調整、デジタルノイズリダクションに対応しています。サポートされているカメラの解像度は、2160p（4K）、1080p、720p、960×480、848×480、640×480、640×360、432×240です。

ビームステアリングマイクアレイは、4本の独立したデジタルビームを形成する6つのマイクで構成されています。増設マイクを使わなくても、奥行き6 mまでの部屋をカバーします。マイクの周波数レンジは20 Hz～15 kHz（-3 dB）です。マイクアレイは、静的およびアダプティブダイナミックビームフォーミング、3つの除外ゾーンの設定、ステレオアコースティックエコーキャンセレーション（AEC）、オートマチックゲインコントロール（AGC）、オートマチックマイクミキシング（AMM）、アダプティブEQ、デジタルノイズサプレッションをサポートしています。

一体型のスピーカーシステムはパワードで、ステレオ出力に対応します。Dynamic EQを搭載し、非常に広い範囲の周波数レンジを処理できる性能により、マルチメディアプレゼンテーション、Bluetoothオーディオソース、会議用途に対応できます。スピーカーは、85 Hz～20 kHz（-10 dB）の周波数特性を備えた2つのトランスデューサーで構成されます。内蔵のアンプは、スピーカーのトランスデューサーそれぞれに専用の20 W出力チャンネル2つで構成されます。

このUSB会議デバイスにはUSB-Cポートが搭載され、ケーブル1本の接続だけで、ホストコンピューターとの双方向通信が可能です。USB接続はUSB 3.0、UAC、UVC、HIDをサポートするほか、USB 2.0との後方互換性も備えています。ケーブル1本の接続だけで、USB会議デバイスのマイクとカメラから映像と音声がホストコンピューターに送信されます。また、同じケーブル接続を介してホストコンピューターから音声を受信し、USB会議デバイスのスピーカーシステムで再生することができます。

このUSB会議デバイスは、HDMI出力による外部映像ディスプレイとの接続に対応します。USBケーブル1本の接続でホストコンピューターから（内蔵のDisplayLink機能を使用して）送信されたビデオ信号は、HDMI出力を介して外部映像ディスプレイに出力されます。外部映像ディスプレイは、ホストコンピューターの複製または拡張映像ディスプレイとして機能します。

このUSB会議デバイスは、4.2 HSP、A2DP、AVRCP、BLEプロファイルでのBluetooth接続に対応しています。3.5 mmステレオオーディオ入力を使用可能です。スピーカーに搭載されているミュート回路は、2ピンユーロブロック汎用入力、およびノーマリーオープン（アクティブハイ）またはノーマリクローズ（アクティブロー）の設定によりトリガーされます。

このUSB会議デバイスはEthernetに対応し、有線およびワイヤレスネットワークのインターフェースに個別でアドレス指定が可能です。有線接続は、RJ-45ネットワークポートを介した1 Gbps Ethernet（IEEE 802.3）です。ワイヤレス接続は、IEEE 802.11ac準拠のWi-Fiをサポートします。両方のネットワークインターフェースからアクセスできる、Webブラウザー経由での設定が可能です。さらに、WindowsとmacOSで動作し、SNMP、REST、WebSocket APIもサポートする設定ソフトウェアアプリケーションを使用した、USB経由での設定にも対応しています。また、SNMP、REST、WebSocket API対応の管理ソフトウェアアプリケーションを使用して、リモートでの管理と設定が可能なほか、リアルタイムのコントロールとステータス確認もできるため、ユニット単体またはシステム全体を簡単に変更できます。

付属の赤外線リモコンか、Google PlayまたはApp Storeからダウンロードできる無料のモバイルアプリにより、ユーザーのスマートフォンでコントロールが可能です。ユーザーは、カメラの位置、ズーム比率、プリセットのコントロールのほか、オートフレーミングの切り替えも行えます。また、スピーカーの音量調節、マイクのミュート／ミュート解除、Bluetoothデバイスの接続／切断も行えます。システム管理者はユーザーのデバイスコントロールを制限できます。専用のソフトウェアアプリケーションを使用して、カメラ、スピーカー、マイクのユーザーコントロールをオン、オフ、制限することができます。また、本体の側面パネルには、Bluetooth接続とミュート制御のボタンが配置されています。

USB会議デバイスのカメラレンズの下には、カメラのステータス、スピーカー音量、および接続の状態を視覚的に示すライトバーのほか、Bluetoothランプとミュートインジケーターがあります。USB会議デバイスは、標準的な壁面に、または付属のテーブルスタンドを使用してテーブル上に設置できます。VESA準拠のディスプレイマウントキットや取り付け済みのマッドリング（北米の電気機器に対応）を使用すれば、会議室にあるビデオディスプレイの上または下にも設置できます。

USB会議デバイスの正式名称は、Bose Professional Videobar VB1です。

設定用ソフトウェアアプリケーションの正式名称は、Bose Professional Videobar Configurationアプリです。

管理用ソフトウェアアプリケーションの正式名称は、Bose Professional Videobar Managementアプリです。

ディスプレイマウントキットの正式名称は、Bose Professional Videobar Display Mounting Kitです。

マッドリングの正式名称は、Bose Professional Videobar Mud Ringです。